

## 「人を対象とする生命科学・医学系研究についての情報公開文書」

### 研究課題名：全層角膜移植における端々縫合と二重連続縫合の角膜乱視度の比較

#### ・はじめに

角膜疾患の治療法のひとつに全層角膜移植術があります。全層角膜移植術は角膜の混濁や形状の異常による視力障害に対して角膜を切除しドナーから提供された角膜を移植する手術です。全層角膜移植術において提供されたドナー角膜を縫合する方法にはさまざまな方法があり、大きく分けて端々縫合(一針ずつ縫う方法)と連続縫合(一周をひと続きに縫う方法)があります。連続縫合は術後角膜乱視を軽減するとされるが、実際は不明です。当院で端々縫合または連続縫合による角膜移植を行った症例の角膜乱視度の違いを後ろ向きに検討し、明らかにすることを目的に本研究を計画しました。

こうした研究を行う際には、血液、組織、細胞など人のからだの一部で、研究に用いられるもの(「試料」といいます)や診断や治療の経過中に記録された病名、投薬内容、検査結果など人の健康に関する情報(「情報」といいます)を用います。ここでは、既に保管されているこうした試料や情報の利用についてご説明します。

#### ・研究に用いる試料や情報の利用目的と利用方法(他機関に提供する場合にはその方法を含みます)について

群馬大学医学部附属病院眼科で全層角膜移植を受けた患者さんの術後早期(1~2か月後)および後期(6~8か月後)の角膜形状解析検査(トーマーSS-1000 CASIA)における角膜乱視度を調べ、端々縫合と二重連続縫合で乱視の強さに差があったかを診療録をもとに調べます。

#### ・研究の対象となられる方

群馬大学医学部附属病院眼科において2019年3月1日から2022年2月28日までに全層角膜移植を行った患者さん26例(端々縫合17例、二重連続縫合9例)を対象にします。ただし、角膜感染症に対する治療的角膜移植を行った患者

さんは対象としません。

対象となることを希望されない方は、相談窓口（連絡先）へご連絡ください。希望されなかった方の情報は、研究には使用しません。

ただし、対象となることを希望されないご連絡が、論文等に公表される以降になった場合には、ご希望に添えない可能性があることをご了承ください。

#### ・研究期間

研究を行う期間は学部等の長の承認日より2024年3月31日までです。

#### ・研究に用いる試料・情報の項目

電子カルテの医師の診察記事より以下の情報を収集します。

患者背景（年齢、性別）、来院日、来院時の検査所見、手術の内容、術後の角膜乱視度（術後早期1～2か月後および後期6～8か月後）、術後合併症の有無。

#### ・予想される不利益(負担・リスク)及び利益

この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。また、本研究により研究対象者となった患者さんが直接受けることのできる利益及び不利益(リスク)はありませんが、将来研究成果は角膜移植の治療成績の向上の一助になり、多くの患者さんの治療と健康に貢献できる可能性があると考えています。

#### ・個人情報の管理について

個人情報の漏洩を防ぐため、群馬大学医学部眼科においては、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしています。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は含まれません。

#### ・試料・情報の保管及び廃棄

この研究により得られた情報は、群馬大学医学部附属病院眼科で外部から遮断されたパソコン内にパスワードで保護したうえで保管されます（管理責任者：戸所大輔）。保管期間終了後に個人を識別できる情報を取り除いた上でデータ抹

消ソフトを用いて消去いたします。保管期間は承認後から 2033 年 3 月 31 日までとします。

・ **研究成果の帰属について**

この研究により得られた結果が、特許権等の知的財産を生み出す可能性があります。その場合でも、特許権等は研究者もしくは所属する研究機関に帰属することになり、あなたにこの権利が生じることはありません。

・ **研究資金について**

本研究に係る資金源は、群馬大学眼科の運営交付金であり、特定の企業からの資金提供は受けていません。

・ **利益相反に関する事項について**

研究グループが公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けている場合に、臨床研究が企業の利益のために行われているのではないか、あるいは臨床研究の結果の公表が公正に行われぬのではないか（企業に有利な結果しか公表されないのではないか）などといった疑問が生じることがあります。これを利益相反（患者さんの利益と研究グループや製薬企業などの利益が相反している状態）と呼びます。この研究の利害関係については、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ております。また、この研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告などを行うことにより、この研究の利害関係について公正性を保ちます。

・ **「群馬大学 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会」について**

この研究を実施することの妥当性や方法については、多くの専門家によって十分検討されています。群馬大学では人を対象とする医学系研究倫理審査委員会を設置しており、この委員会において科学的、倫理的に問題ないかどうかについて審査し、承認を受けています。

・ **研究組織について**

この研究を担当する研究責任者、研究分担者は以下のとおりです。

研究責任者

所属・職名：眼科・准教授

氏名： 戸所大輔  
連絡先： 027-220-8338

#### 研究分担者

所属・職名：眼科・助教  
氏名： 篠原洋一郎  
連絡先：027-220-8338

#### ・ 研究対象者の権利に関して情報が欲しい場合あるいは健康被害が生じたときに連絡をとるべき相談窓口について

研究対象者がこの研究および研究対象者の権利に関してさらに情報が欲しい場合、または研究対象者に健康被害が発生した場合に、研究対象者が連絡をとる担当者は下記のとおりです。何かお聞きになりたいことがありましたら、どうぞ遠慮なくいつでもご連絡ください。

試料・情報を研究に用いることについて、対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。研究対象者とならない場合でも不利益が生じることはありません。

#### 【問合せ・苦情等の相談窓口（連絡先）】

所属・職名：群馬大学医学部眼科 教授  
氏名： 秋山 英雄  
連絡先：〒371-8511

群馬県前橋市昭和町 3-39-15

Tel：027-220-8338

担当：戸所大輔

上記の窓口では、問合せ・苦情等の他、次の事柄について受け付けています。

- (1) 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法 他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。
- (2) 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続（手数料の額も含まれます。）

- (3) 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明
- (4) 研究対象者から提供された試料・情報の利用に関する通知
  - 試料・情報の利用目的および利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）
  - 利用し、または提供する試料・情報の項目
  - 利用する者の範囲
  - 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
  - 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること、およびその求めを受け付ける方法